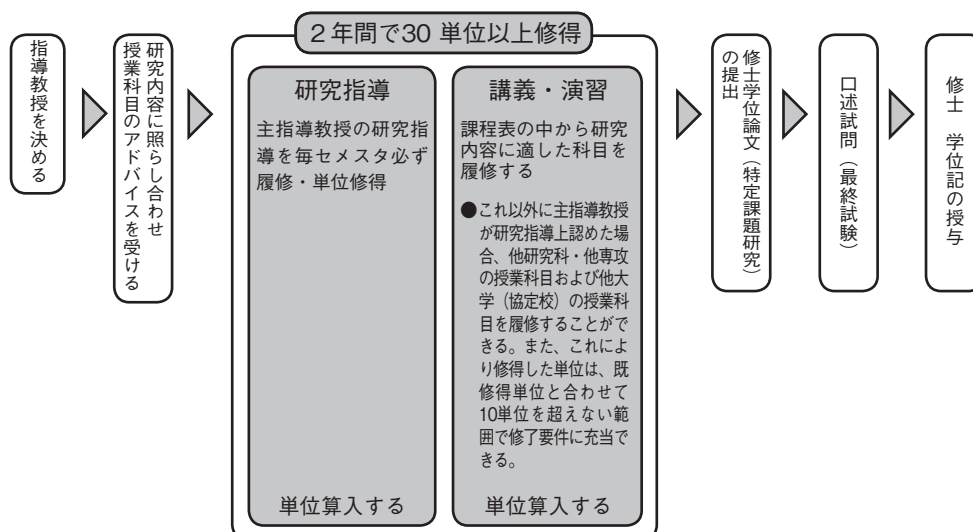
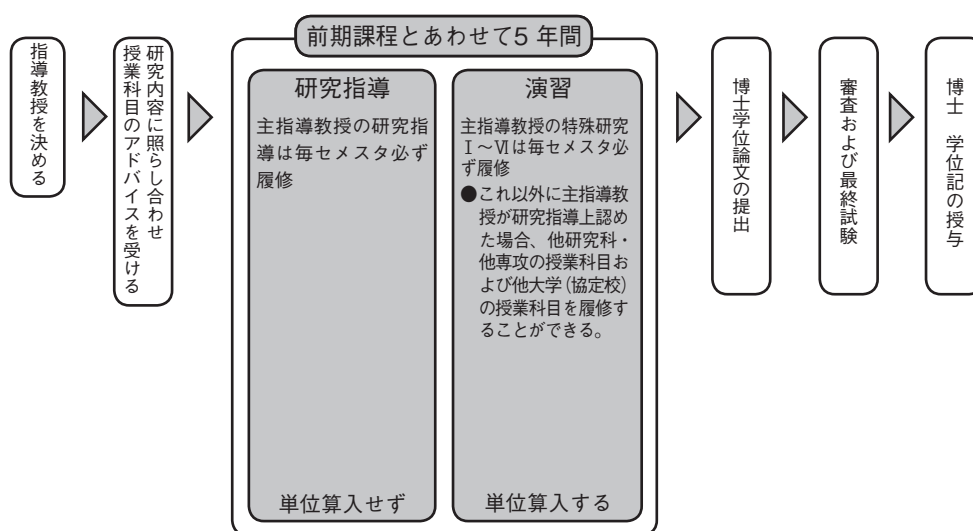


人間環境デザイン専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



※本専攻では、授業内容の理解や自身の研究を一層深めるために、授業及び研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。
 ※本専攻所属学生は、2021年4月より赤羽台キャンパス(WELLB HUB-2)で修学します。

人間環境デザイン専攻

博士前期課程

選択・必修の別	2021年度開講学期	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	配当年次	開講年度		担当教員	備考
							2021	2022		
必修	秋	人間環境デザイン基礎特論	講義	2	DES601	1・2	○	○	内田、仲、水村、池田、大沼、櫻井、勝平、菅原、柏樹、嶺、齋藤、名取、富安、松本(和)	
	春	建築計画特別演習A	演習	2	TPA601	1・2	○		富安亮輔、齋藤博	
4単位選択必修	春	建築計画特別演習B	演習	2	TPA602	1・2	○		仲綾子、松本康弘	
	一	建築設計特別演習A	演習	2	BSM601	1・2		○	内田祥士、山本成一郎	本年度休講(隔年開講)
	一	建築設計特別演習B	演習	2	BSM602	1・2		○	櫻井義夫、鷹箸讓	本年度休講(隔年開講)
	一	建築構法特別演習	演習	2	BSM603	1・2		○		本年度休講(隔年開講)
	春	生活支援デザイン特別演習A	演習	2	RSW601	1・2	○		勝平純司、菅原麻衣子	
	春	生活支援デザイン特別演習B	演習	2	RSW602	1・2	○		高橋良至、嶺也守寛	
	春	製品デザイン特別演習A	演習	2	DES601	1・2	○	○	大沼敦、松本和也、柏樹良、池田千登勢	
	春	製品デザイン特別演習B	演習	2	DES602	1・2	○	○		
選択	秋	地域計画特論	講義	2	TPA601	1・2	○		齋藤博	
	一	建築計画特論	講義	2	TPA602	1・2		○	富安亮輔	本年度休講(隔年開講)
	一	建築設計特論	講義	2	BSM601	1・2		○	内田祥士	本年度休講(隔年開講)
	春	建築意匠特論	講義	2	AHD601	1・2	○		櫻井義夫	
	春	建築構法特論	講義	2	BSM602	1・2	○		名取発	
	秋	生活支援工学特論	講義	2	RSW601	1・2	○		嶺也守寛	
	春	生活支援デザイン特論	講義	2	RSW602	1・2	○		勝平純司	
	一	メカトロニクス・デザイン特論	講義	2	RSW603	1・2		○	高橋良至	本年度休講(隔年開講)
	秋	住居計画特論	講義	2	CLD601	1・2	○		水村容子	
	春	製品デザイン特論	講義	2	DES602	1・2	○		大沼敦	
	一	アクセシブルデザイン特論	講義	2	DES603	1・2		○	池田千登勢	本年度休講(隔年開講)
	一	ヒューマンインターフェイス特論	講義	2	HII601	1・2		○	松本和也	本年度休講(隔年開講)
	一	インテリアデザイン特論	講義	2	CLD602	1・2		○	柏樹良	本年度休講(隔年開講)
	秋	生活空間計画特論	講義	2	TPA603	1・2	○		菅原麻衣子	
	秋	医療福祉建築特論	講義	2	AEN601	1・2	○		仲綾子	
	春	建築環境特論(一級建築士資格対応)	講義	2	AEN602	1・2	○		開原典子	
	一	コミュニケーション支援技術特論	講義	2	RSW604	1・2		○	巖淵守	本年度休講(隔年開講)
	秋	認知心理学特論	講義	2	CGS601	1・2	○		小林吉之	
	春	国際・産学協同特別実習ⅠA	実習	2	CIV601	1・2	○	○	本専攻全専任教員	集中講義
	秋	国際・産学協同特別実習ⅠB	実習	2	CIV602	1・2	○	○	水村、大沼、内田、櫻井、勝平、菅原、名取、池田、嶺、仲、柏樹、富安、齋藤、松本(和)	集中講義
春	国際・産学協同特別実習Ⅱ	実習	2	CIV603	1・2	○	○	本専攻全専任教員	集中講義	
必修	春	人間環境デザイン学研究指導ⅠA	演習	2	REG601	1	○	○	水村、大沼、内田、櫻井、勝平、菅原、名取、池田、嶺、仲、柏樹、富安、齋藤	1セメスタ在籍者
	秋	人間環境デザイン学研究指導ⅠB	演習	2	REG602	1	○	○		2セメスタ在籍者
	春	人間環境デザイン学研究指導ⅡA	演習	2	REG603	2	○	○		3セメスタ在籍者
	秋	人間環境デザイン学研究指導ⅡB	演習	2	REG604	2	○	○		4セメスタ在籍者

注：春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

修了に必要な単位等

1. 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
2. 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修・単位修得すること。
3. 共通科目「人間環境デザイン基礎特論」を履修・単位修得すること。
4. 「特別演習」から2科目を選択して履修し、4単位修得すること。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名、副指導教授1名（特に主指導教授から指示があった場合は、2名）とし、主指導教授は、「人間環境デザイン学研究指導ⅠA～ⅡB」を担当する教員の中から選ぶこと。
3. 同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない。ただし、原級生および長期履修学生は、延長したセメスタ（5セメスタ以上）において、主指導教授の「人間環境デザイン学研究指導ⅡB」をその都度履修すること。なお、この場合であっても、同科目において修了要件の単位に充当するのは2単位のみとする。
4. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。
5. 「修士論文」または「特定課題研究」の作成にあたっては、主指導教授の指導を受けなければならない。
6. 建築士試験の大学院における実務経験を認定してもらうためには、特定課題研究として「修士設計」の提出を求めることがあるので、指導教授の指示を受けること。

博士後期課程

選択・必修の別	2021年度開講学期	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	配当年次	開講年度		担当教員	備考
							2021	2022		
必修	春	人間環境デザイン学特殊研究Ⅰ	演習	2	REG701	1	○	○	水村容子、大沼敦、内田祥士、櫻井義夫、勝平純司、菅原麻衣子、仲綾子、池田千登勢、嶺也守寛	1セメスタ在籍者
	秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅱ	演習	2	REG702	1	○	○		2セメスタ在籍者
	—	人間環境デザイン学特殊研究Ⅲ	演習	2	REG703	2		○		本年度休講
	—	人間環境デザイン学特殊研究Ⅳ	演習	2	REG704	2		○		本年度休講
	—	人間環境デザイン学特殊研究Ⅴ	演習	2	REG705	3				本年度休講
	—	人間環境デザイン学特殊研究Ⅵ	演習	2	REG706	3				本年度休講
必修	春	人間環境デザイン学研究指導	演習		REG707～REG712	1～3	○	○	水村容子、勝平純司、内田祥士、菅原麻衣子、嶺也守寛	各セメスタごとに履修
	秋	人間環境デザイン学研究指導	演習		REG707～REG712	1～3	○	○		各セメスタごとに履修

注：春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

修了に必要な単位等

1. 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
2. 「人間環境デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ」は、主指導教授の科目を、毎セメスタ必ず履修すること。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名、副指導教授1名（特に主指導教授から指示があった場合は、2名）とし、主指導教授および副指導教授は、「人間環境デザイン学研究指導」を担当する教員の中から選ぶこと。
3. 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。

■一級建築士の実務年数認定

建築・環境デザインコースの大学院博士前期課程の学生は、インターンシップ関連科目の単位取得に応じて、一級建築士の実務経験年数認定（2年または1年）を希望することが出来る。希望する場合には、入学または進級時に、その意志を指導教員に申し出、具体的な履修説明・指導を受けること。

なお、インターンシップ科目及びインターンシップ関連科目の詳細については、指導教員の指導を受け、シラバスで確認すること。

2018年12月14日に公布された「建築士法の一部を改正する法律」により、一級建築士試験の受験の要件となっていた実務経験が、建築士免許の登録要件に改められることとなる。

この改正によって変更となる内容がある場合、別途掲示等で周知するので確認すること。

□国際・産学協同特別実習ⅠA・ⅠB・Ⅱについて

本実習は、人間環境デザイン専攻のインターンシップ科目である。ただし、建築・環境デザインコースの院生にとっては、一級建築士受験に際して、大学院在学期間の内一年間を実務経験年数として換算するためにも用いることが出来る科目として配置されている。本実習を実務経験年数として換算するために用いる場合には、あらかじめ、その旨指導教員に申し出て、必要な手続をとる必要がある。その上で、指導教員が適切と判断した一級建築士事務所に出向き、設計図書の作成等の建築設計補助業務を行う。したがって、直接の指導は出向先の有資格者（一級建築士）から受ける事になる。事前ガイダンスと事後報告計10時間とインターンシップ80時間の合計90時間で2単位とする。なお、建築設計補助業務とは下記の4つとする。

- ・実際の設計活動における設計補助作業
- ・実際の確認申請における申請業務の補助
- ・実際の工事監理における監理業務の補助
- ・設計競技或いはプロポーザル等の設計補助作業

本科目を受講した院生は単位の修得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告すること。

また、道具・機器デザイン及び製品・情報デザインの各コースにおいては、通常のインターンシップ科目として運用されるが、合計90時間で2単位であること、単位の修得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告する点は、建築・環境デザインコースの場合と同様である。

※ この科目は ToyoNet-G による履修登録はできないので、主指導教授と相談の上、実習が確定次第赤羽台事務課窓口（WELLB HUB-2 1階）に申し出て、必要書類を提出すること。

□人間環境デザイン学研究指導ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡBについて

一級建築士の実務年数認定について、実務経験年数2年を希望する学生は、インターンシップ科目を計14単位、インターンシップ関連科目を計16単位、合計30単位を取得することが必要となる。本専攻では、インターンシップ科目は「国際・産学協同特別実習ⅠA・ⅠB・Ⅱ」（計6単位）に加え、特定の指導教員による「人間環境デザイン学研究指導ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」（計8単位）を学内で実施するインターンシップ科目とすることで、必要単位数を満たすことができる。インターンシップ関連科目は、演習・実習・実験科目で8単位、講義科目で8単位を満たす必要がある。科目の詳細は、指導教員に確認すること。

なお、研究指導科目をインターンシップ科目とする際は、インターンシップ成果を含む特定課題研究を提出しなければならない。詳細は、指導教員に確認すること。